

地域の活性化や 人材育成へ協定

神大と横浜MM21

4月に横浜・みなとみらい21（MM21）地区に新キャンパスがオープンした神奈川県立神奈川大学と一般社団法人「横浜みなとみらい21」は30日、包括連携協定を結んだ。MM21地区で街づくりを担ってきた同法人が大学内に活動スペースを設け、両者で地域の活性化や人材育成の充実などを目指す。

同日開かれた協定締結式で、同大の兼子良夫理事長・学長は「みなとみらいのまち全体をキャンパスにしたいと考えてきた。連携の実現は本学の発展に不可欠」とあいさつ。同法人の坂和伸賢代表理事は「連携により社会課題の解決や地

包括連携協定を結んだ横浜みなとみらい21の坂和伸賢代表理事と神奈川大の兼子良夫理事長・学長（左から）

同大みなとみらいキャンパス

包括連携協定締結



域、社会の発展に寄与したい」と話した。

9月から起業家向けの「イノベーション塾」を共同で開催するほか、MM21地区内の企業と大学が連携し、学生のインターンシップ（職業体験）や共同研究などを進めていく。

（佐野 克之）